

一般質問通告書

2025年6月3日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 11番 福井 節子

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { ①. 全項目一括質問一括答弁
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 3) 発言事項	市民の日常の暮らしを守るための手立てを
要 旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	
<p>1、暮らしに貢献する小売店と移動販売を残すためにと伺います。</p> <p>旧高島町の、小売店閉店による市民への影響を議会で取り上げたばかりのところに、さらに新旭のスーパーが閉店するとの話が、漏れ伝わってきました。</p> <p>新旭唯一のスーパーで、駅からも近く便利に利用しておられましたから、影響は大きいと言わざるを得ません。ドラックストアや園芸用品店などの新旭への出店もあり、その影響は少なからずあったのではないのでしょうか。しかし、このスーパーを利用されていた皆さんにとっては死活問題です。市として民間の営業と捉えるのではなく、市民の日常の生活・暮らしに関わる重大な事案と捉え、出来る手立てを尽くすべきではないのでしょうか。</p> <p>2、物価高騰に加え、令和の米騒動まで市民生活を脅かしています。備蓄米の放出を小泉農水大臣は、随意契約でいち早く消費者の手元に届くようにと言いますが、令和3年産の古古古米で、次は飼料とする備蓄米を、5kg2000円で販売出来るようにと放出しました。これまでの米価は生産コストも農家は取れておらず、時給10円と計算され、生産者が生き残って行けない、後継ぎもさせられないという現状が明らかになりました。安すぎた米価を再生産できる価格にすることは当然で、所得保障の必要性を共産党はこれ迄から提案してきました。</p>	

消費者の立場からは、高すぎる米価を安心して買える米価にして欲しいと願うのは当然のことです。しかし、古古古米でも2000円では、わずかの年金生活者や生活保護世帯にとっては、厳しい現実です。福井市で「子どもにお米券を支給」と聞きますが、高島でも生活保護世帯や非課税世帯に「お米券」の支給が出来ないか伺います。